風来坊 2014
10.

〈スライド動画・抜粋版〉震災後初めて　三陸沿岸を再訪　　2014.6.7-6.9

東北　三陸沿岸の Iron Road を訪ねる

◎　6月7日
- 近代製鉄発祥の地「釜石」再訪　橋野洋式高炉跡・大橋鉄鉱山・釜石鉄の歴史館
- 釜石線　Ωループによる北上山地仙人峠越で陸中大橋へ

◎　6月8日
- 山田線不通区間代行バス・三陸北リアス線で北三陸沿岸をめぐる
- 山田町船越で現在発掘中の古代の製鉄遺跡現地見学
- 岩泉町　龍泉洞再訪　見学
- 北緯４０度地球村　普代・黒崎再訪

◎　6月9日
- 黒崎岬　普代浜　普代の街見学
- 三陸鉄道で久慈　そして八戸線で種差海岸へ

リアス式海岸が続く三陸沿岸の Iron Road

リアス式海岸が続く三陸は　古代　蕨手刀を手に戦った蝦夷の鉄生産基地・兵器庫であった製鉄地帯。

古代から　たたら製鉄跡が点々と続き、山には岩鉄　川には餅鉄　浜には砂鉄が堆積する砂鉄浜と製鉄原料の宝庫である。また、久慈・八戸は日本有数の砂鉄層（ドバ）が埋まっていて、最近までこの砂鉄を使った製鉄が行われていた。

また、釜石の背後をなす北上山地の山中　大橋・橋野は幕末から明治初期　洋式高炉が立ち並ぶ日本の近代製鉄発祥の地。そして、その三陸の海は魚や海藻など海産物の宝庫　三陸沿岸の森から海に流れ込んだ鉄がそんな豊かな海を育んだ。

1992 年春　東北の古代からの製鉄地帯　北三陸　岩泉・普代・久慈を訪ね、その時、知った久慈の砂鉄そして琥珀。そして、「琥珀の道・アンバーロード」の言葉。

三陸・久慈に「アンバーロード」そして「和鉄の道・Iron Road」が延々と続く。

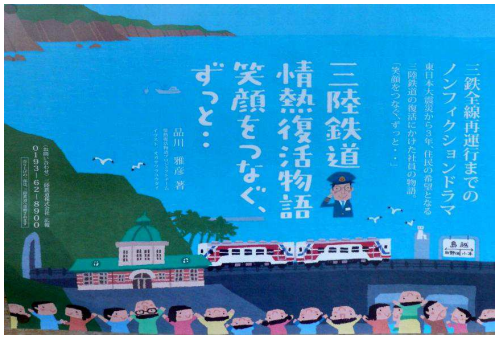
私のライフワーク　日本各地の製鉄関連遺跡探訪の Country Walk のタイトルに「Iron Road・和鉄の道」ととしようと。

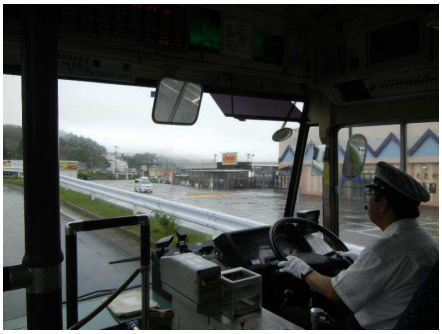
また、縄文遺跡や東北の山々も含めて、何度も東北に通ううちに

「　あの高嶺 鬼すむ誇り　　その瀬音 久遠の賛歌
この大地 燃えたついのち　ここは 北上(東北)　-　北上市市民憲章より　-　*」*

と古代蝦夷と呼ばれた人たちを自分たちのルーツとして讃える東北の人たちの心情にも強く心打たれ、またこの心情・連帯感が「日本の心の故郷　縄文」からつながる東北・三陸の独自文化を育ててきたのではないか ？ と。

そんな三陸沿岸が大津波に 2011 年東日本大震災と大津波に襲われ、未曽有の大災害に見舞われた。
いつも頭にあり、気になってきた東北ですが、よう訪ねることができませんでしたが、震災後３年　今、やっと復興が進みだし、三陸鉄道も動き出したと聞き、「この三陸に出かけることも応援の一つ」と。
　やっと大震災後　はじめて、かつて歩いた三陸沿岸の「Iron Road 」を釜石から北へ
　　遠野から北上山地の仙人峠を越えて　釜石→大槌・山田→宮古→岩泉・普代→久慈→八戸
　と厳しいリアス式海岸の三陸沿岸の「和鉄の道」を製鉄遺跡や砂鉄浜など鉄の痕跡をたどりつつ、やっと北三陸の「Iron road」を歩いてこれたというか・・・３日間北三陸の街を眺めてきました。
まだまだ　三陸の厳しい現実を眼にすることも多かったですが、三陸沿岸の製鉄関連遺跡や砂鉄浜そして今発掘が進む製鉄遺跡現場にもいってこれました。
行く先々で、多くの人たちに困難に立ち向かう中でも、明るく親切に follow してもらった。
「　あの高嶺 鬼すむ誇り　その瀬音 久遠の賛歌　この大地 燃えたついのち　ここは 三陸　」
の東北讃歌を思い浮かべつつ、感謝と共に、ほっとし、思わず「応援しているよ」と。
多くの人たちと出会い写真や資料の整理もこれからですが、
私のたどった三陸沿岸の Iron Road の今を抜粋版のスライド動画でお伝えします。





2014.6.25.　by Mutsu Nakanishi

今回の主要目的は
大震災後　はじめて、かつて歩いた三陸沿岸の「Iron Road 」を釜石から北へ、厳しいリアス式海岸の三陸沿岸の「和鉄の道」を製鉄遺跡や砂鉄浜など鉄の痕跡をたどりつつ、三陸沿岸に足を踏み入れ、三陸の人たちの復興の足音を直に見聞し、応援のひとつにでもなればと。

1. 三陸への壁北上山地の仙人峠を釜石線Ωループで越えて　三陸・釜石へ
　日高見の鬼と呼ばれ、蕨手刀を持って大和と戦った古代蝦夷の雄　アテルイ
　その主要鉄生産基地「三陸」ではないか?　その痕跡が見えるかも・・
　ひょっとして　製鉄技術について　大陸と独自の交流ルートを持っていたのではないか・・
　復興事業推進で次々進む三陸沿岸の製鉄遺跡発掘現場で　そんな痕跡が判るかもしれないと

2. 今　世界産業遺産登録運動が進む　近代製鉄発祥の地「釜石」
山中に岩鉄　川に餅鉄　浜に砂鉄　豊富な製鉄原料のある釜石の一番奥深い山中に建設された
日本最初の洋式高炉跡が残る橋野・大橋鉄鉱山を是非訪ねてみたい。
3. 三陸鉄道に乗って、かつて訪ねた「北緯４０度の地球村　普代」の砂鉄浜と断崖そして竜泉洞、
4. 「和鉄の道・Iron Road」と命名のきっかけとなった久慈・八戸の砂鉄を訪ねる
5. あとは風来坊　私の興味
○　開通した三陸鉄道の今　　○　岩泉　竜泉洞のあのブルー等々

整理はまだ、これからですが、　≪抜粋版で≫今回出かけた三陸沿岸の Iron Road でみたものをスライド原図でお知らせするとともに、下記のように整理して、今後掲載してゆく予定です。

＜詳細版＞　東北　三陸沿岸の Iron Road を訪ねる

1.	世界産業遺産登録 を目指す 日本近代製鉄発祥の地	「釜石」近代製鉄発祥の洋式高炉建設地「釜石」橋野・大橋を訪ねる	2014.6.7.	掲　載
2.	発掘中の古代の製鉄遺跡 山田町船越「焼山遺跡」を訪ねる	古代蝦夷の鉄生産工房地の謎を解くかも??	2014.6.8.	整理中
3.	三陸鉄道に乗って 三陸沿岸の砂鉄浜 普代浜を訪ねる	20数年前訪れた龍泉洞 そして 砂鉄浜 普代浜 を訪ねる	2014.6.7.&6.8.	整理中
4.	車窓より眺める久慈・八戸周辺の砂鉄浜を	普代から久慈・八戸へ　砂鉄浜の 有家海岸 & 種差海岸	2014.6.9.	整理中
5.	震災後3年 生活復興を進める三陸沿岸の街の今	三陸の街の今　コメントなしのPhoto集です	2014.6.7.-6.9.	整理中

◆ 交通の便は非常に悪く、行く先々の集落で雪隠詰になりましたが、車がないと大変。
リアス式海岸の三陸沿岸をトラバースできる三陸鉄道をまちこがれた気持ちがよくわかる。
◆ 復興はまだ　これから。　そこに住む人たちの生活安定が一日も早くたっせいされるよう願いながら帰ってきました。
行っている間　ずっと大雨にたたられましたが、そこは風来坊　雨も味方につけてぶらぶら。
行けてよかった　ほっとしたと。　これでまた　東北へ通えると。

≪ 関連和鉄の道 & 転載・引用などに使った資料及び参考資料 ≫

【和鉄の道】

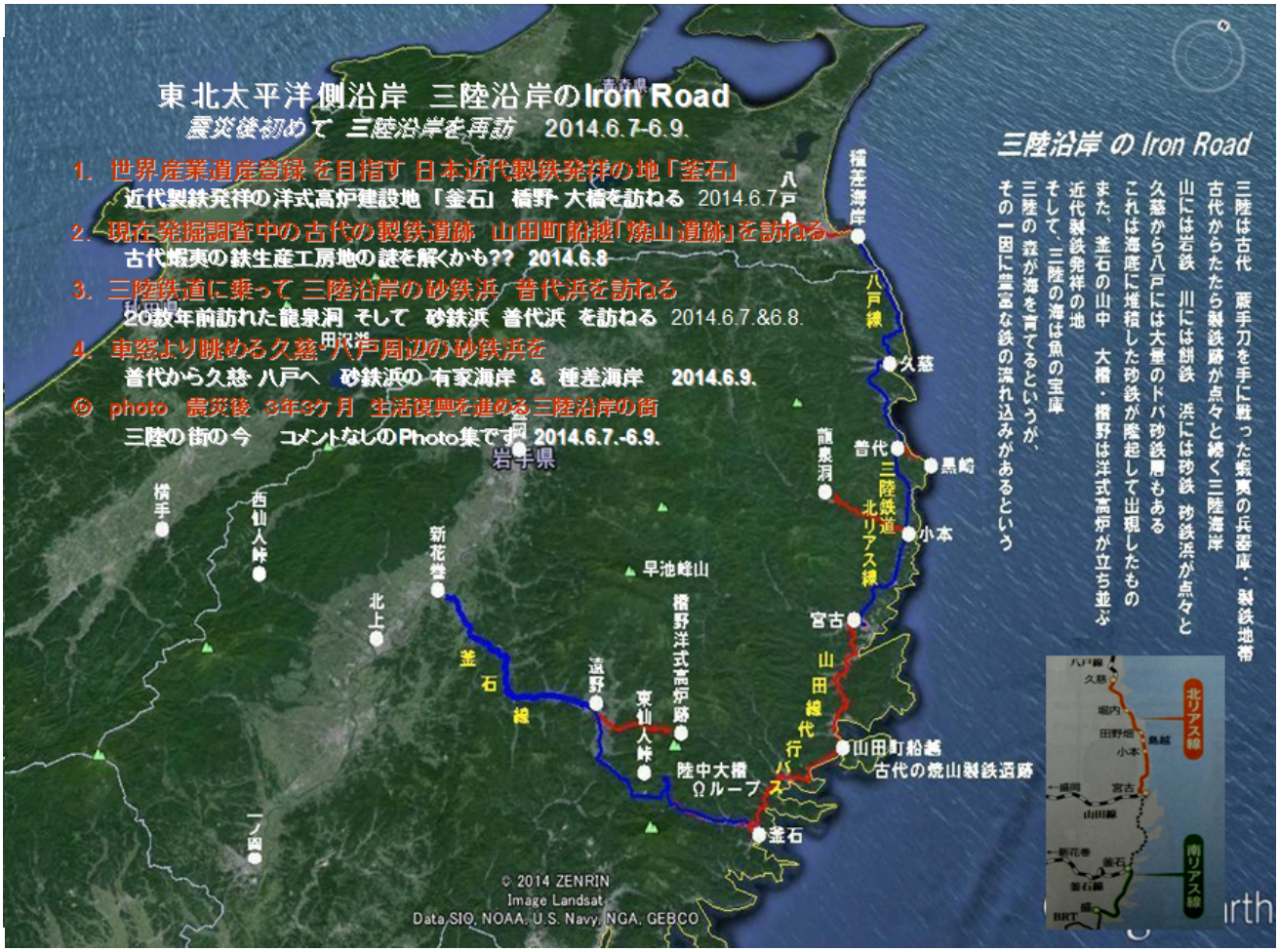
1. 田舎なれども南部の国は西も東も金の山?　岩手県南部　蝦夷の鉄　北上山地　大鎚・釜石へ
http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/kmaisi.pdf
2. 岩手県北上川流域の製鉄地帯　一関博 物館　？　蝦夷の蕨手刀と 日本刀のルーツ　舞草刀
http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/jstlbb08.pdf
3. 蝦夷の鉄・ 東北　和鉄の道　　東北地方　和鉄の 道　９編　取りまとめ
http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/4iron06.pdf

【転載・引用・参考資料など】

1. 橋野高炉跡パンフレット　日本近代製鉄の先駆け　釜石教育委員会編
http://www.city.kamaishi.iwate.jp/index.cfm/8,10478,48,255,html
2. 釜石市 home page　　歴史　世界遺産登録推進室ほか
http://www.city.kamaishi.iwate.jp/index.cfm/8,0,48,255,html
3. 釜石から誕生した近代製鉄のあゆみ
http://www.nssmc.com/company/publications/monthly-nsc/pdf/2007_7_170_11_12.pdf
4. 岩手県立埋蔵文化財センター所報　「わらびて」（ No.129 ）.　焼山遺跡
http://www.echna.ne.jp/~imaibun/warabite/no129/warabite129.pdf
5. 田村栄一郎著　「みちのくの砂鉄　いまいずこ」
6. 柴田弘武著　「鉄と俘囚の古代史」

〈抜粋版〉震災後初めて　三陸沿岸を再訪　　2014.6.7-6.9

東北　三陸沿岸の Iron Road を訪ねる　Photo File



◎　6月7日

・近代製鉄発祥の地「釜石」再訪　橋野洋式高炉跡・大橋鉄鉱山・釜石鉄の歴史館

・釜石線　Ωループによる北上山地仙人峠越で陸中大橋へ

◎　6月8日

・山田線不通区間代行バス・三陸北リアス線で北三陸沿岸をめぐる

・山田町船越で現在発掘中の古代の製鉄遺跡現地見学

・岩泉町　龍泉洞再訪　見学

・北緯４０度地球村　普代・黒崎再訪

◎　6月9日

・　黒崎岬　普代浜　普代の街見学

・　三陸鉄道で久慈　そして八戸線で種差海岸へ

◎ 6月7日 ・近代製鉄発祥の地「釜石」再訪　橋野洋式高炉跡・大橋鉄鉱山・釜石鉄の歴史館
・釜石線　Ωループによる北上山地仙人峠越で陸中大橋へ

東北新幹線　東京上野　6:10発　やまびこ41　新花巻　9:07着
釜石線　新花巻　9:20発　快速　遠野　10:02着

◎ 日本洋式高炉跡見学
遠野駅で　遠野タクシーで　笛吹峠・橋野製鉄跡　川の餅鉄　見学　往復

◎ 釜石へ　釜石線　長いトンネルとΩループ　で北上山地仙人峠越
釜石線　遠野　13:06発　釜石　13:54着　車中より　仙人峠を眺める

◎ 鉄の歴史館　再訪　近代製鉄発祥の地「釜石」の鉄の歴史展示見学
釜石駅前　14:07発　平田第6仮設前方面行　路線バスで「観音口」下車　車中より釜石の街見学

◎ 近代製鉄発祥の地　陸中大橋　釜石鉄鉱山(製鉄所)見学
観音口　15:10 発　上大畑行　上大畑から陸中大橋駅行乗継　陸中大橋17:09 着
（ 釜石駅で列車に乗り換えず、そのまま路線バスで陸中大橋を目指したため、
残念ながら時間切れで、土砂降りの中　陸中大橋駅より釜石鉄鉱山を眺めることになった ）

◎ 釜石泊　陸中大橋　17:35発　18:01　釜石着
釜石駅から歩いて　街を眺めながら釜石の中心街　大町の宿へ

◎ 6月8日 ・ 山田線不通区間代行バス・三陸北リアス線で北三陸沿岸をめぐる
・ 山田町船越で現在発掘中の古代の製鉄遺跡現地見学
・ 岩泉　龍泉洞　見学
・ 北緯40度地球村　普代・黒崎再訪

◎ 釜石市街地・港の早朝散歩

◎ 釜石駅山田線代替バスで三陸沿岸を山田町船越へ
県営交通バス 釜石駅　7:50発　船越駅　8:37着　車中より釜石・大槌・山田の見学

◎ 山田町船越古代の焼山製鉄遺跡見学　発掘現場　及び　砂鉄海岸　船越浦の浜　見学

◎ 路線バスで宮古から三陸鉄道北リアス線を乗り継いで小本へ　そして竜泉洞見学
県北バス　道の駅やまだ　11:45発　宮古駅　12:49着
バスの車窓より　山田町 & 古代製鉄遺跡　沢田Ⅲ遺跡 遠望
三陸鉄道　宮古駅　13:15発　小本駅　13:48着　「三鉄」乗車と沿岸車窓見学
竜泉洞へのバス運転手さんに紹介してもらってタクシーで劉泉洞往復　竜泉洞見学

◎ 三陸鉄道　北リアス線　乗車　北緯４０度の地球村普代 &　砂鉄浜の普代浜
三陸鉄道　小本駅　17:00発　普代駅 17:31 着　黒崎荘宿泊
土砂降りの雨に　浜へ行くのを翌日に廻し、直接黒崎荘へ

◎ 6月9日 ・ 黒崎岬　普代浜　普代の街見学
・ 三陸鉄道で久慈　そして八戸線で種差海岸へ

◎ 黒崎岬　普代浜　普代の街見学
普代村スクールバス　黒崎入口 7:10発　普代浜　7:25着
黒崎展望台・普代浜・普代の街中 walk

◎ 久慈から八戸へ　八戸線沿いの砂鉄浜　有家海岸　種差海岸
三陸鉄道　普代発8:02が雨でラッキーなことに 約40分遅れ
久慈の街再訪のつもりでしたが、小久慈のたたら館すでに閉鎖され、久慈砂鉄と鉄山のあった洋野町大野を訪ねることもかんがえたのですが、製鉄関連遺跡を訪ねると時間的に新幹線で神戸まで帰れないので、そのまま　八戸線に乗って、久慈から八戸への砂鉄浜を訪ねることにしました。
普代　8:44乗車　久慈　9:35着　車窓から砂鉄浜有家海岸を眺める
久慈　9:47発　陸奥白浜着 11:09着　砂鉄浜　種差海岸陸奥白浜を Walk
鮫駅から　路線バスで八戸駅へ

東北新幹線　八戸　15:06発　はやぶさ24号　東京　18:04着
東海道新幹線　東京　18:33　ひかり527　新大阪　21:26
新大阪　こだま　22:03発　新神戸　22:17

三陸鉄道
情熱復活物語
笑顔をつなぐ、ずっと…
三鉄全線再運行までのノンフィクションドラマ
品川 雅彦 著

RYUSENDO
砂鉄
アンバーロード
1992年に歩いた北三陸のIron Rod・和鉄の道
龍泉洞・田野畑・普代から久慈へ　その時の写真をコラージュに

東北　三陸沿岸のIron Road を訪ねる
1992年春　北の古代からの製鉄地帯　北三陸　龍泉洞から普代・久慈を訪ねました
その時　知った久慈の砂鉄そして琥珀。　そして　琥珀の道アンバーロード。
久慈にアンバーロード　そして三陸沿岸にはIron Road
製鉄関連遺跡を訪ねるCountry walkをIron Road・和鉄の道 としようと・・・
そして、この三陸は　古代 蕨手刀を持って戦った蝦夷たちの鉄の生産基地
独自の製鉄文化をそだてたのでは・・・・と。
また、釜石には　日本近代製鉄発祥の地　洋式高炉操業が始まった地であり
山には岩鉄と呼ばれた鉄鉱石　川には鉄鉄がゴロゴロと。
その後　何度となく訪ねた東北・北三陸　そして、2011年東日本大震災に見舞われた。
震災後　よう足を踏み入れなかった北三陸のIron roadをはじめて歩きました。
アンバーロード
1992年に歩いた北三陸のIron Rod・和鉄の道
龍泉洞・田野畑・普代から久慈へ　その時の写真をコラージュに

釜石線が仙人峠をΩループで走り抜ける陸中大橋　2014.6.7.
ここは近代製鉄発祥の地　洋式高炉が初めて建設された地
釜石鉱山
大橋一番高炉推定値
大橋二番・三番高炉推定値
釜石線
Ωループ
仙人峠
大橋
陸中大橋駅

史跡釜石鉄山大橋高炉跡

鉄の資源帯　北上山地を釜石線Ωループで超えて釜石へ　2014.6.7.
遠野
笛吹峠
最古の近代洋式高炉跡
橋野洋式高炉跡
(東)仙人峠
分水界
釜石線Ωループ
北上山地
日本最初の洋式高炉・大橋高炉建設地
陸中大橋
鵜住居
釜石駅
釜石
鉄の歴史館
奥羽山脈の和賀仙人峠(西仙人峠)そして
北上山脈の東仙人峠　どちらも鉄鉱石を
産出する古代からの険しい和鉄の道
この二つの峠が 蝦夷の鉄生産基地 秋田
そして 三陸を支えたのではないか??
また　東仙人峠を越えた陸中大橋は近代
製鉄発祥の地
そんな険しい東仙人峠・陸中大橋を釜石
線のΩループで超えてゆく

世界産業遺産登録を目指す日本近代製鉄発祥の地「釜石」
現存する日本最古の高炉跡　橋野鉄鉱山
大門から右手坂を登った上方から、1番高炉・二番高炉跡を振り返る　2014.6.7.
橋野にある3本の高炉のうち　1番・2番高炉は万延元年(1860)または万延2年(1861)に完成され
明治4年(1871)年に破棄された。

三番高炉　元治元年(1864)以降にここにあった仮高炉を改修して築造一番・2番高炉が
廃棄後も、橋野が明治27年(1894)閉鎖されるまで稼働していた。

復興事業推進のため三陸沿岸で進む遺跡発掘調査

岩手県埋蔵文化財センター所報「わらびて」129号 2014.2.28.より

三陸沿岸は古代からの鉄鉱石･砂鉄の資源帯であり、 海岸段丘の山裾には古代から点々と製鉄遺跡がある。今 復興道路や住宅建設などの震災復興事業推進の発掘調査の中で、数々の遺跡発掘調査が行われ、数々の製鉄関連遺跡の遺構･遺物が明らかになっている。 中でも 山田町の山裾からは 次々と9か所にも及ぶ古代の製鉄遺跡が発掘され、古代の製鉄炉など古代三陸の製鉄が解き明かされるのではないかといわれる。 山田町船越の湾を臨む丘の斜面から羽口が差し込まれた形のままで古代の製鉄炉が発見されたと聞いて、釜石から宮古への代行バスの途中にある山田町船越の「焼山遺跡」そして 船越半島浦の浜の砂鉄を見学してきました。

発掘調査が進む古代の製鉄遺跡 山田町船越「焼山遺跡」 2014.6.8.

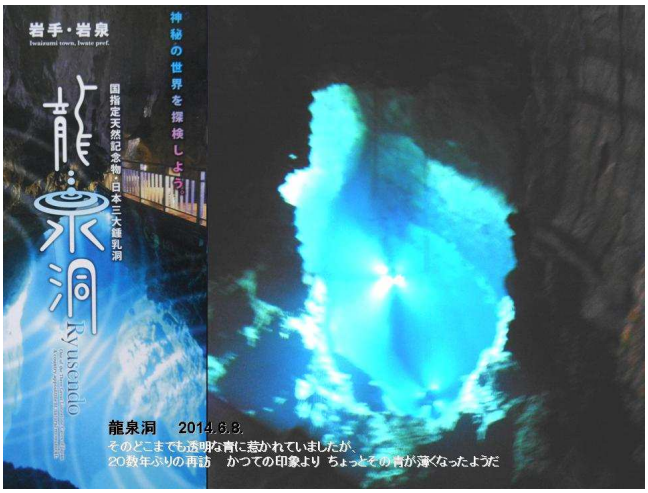
復興事業推進で発掘調査が進む 古代の製鉄遺跡跡 山田町船越 焼山遺跡 2014.6.7.

砂鉄浜 焼山遺跡の下にある船越半島山田湾に面した浦の浜 20146.7.

三陸沿岸のIron Road 砂鉄浜
土砂降りの雨に煙る砂鉄浜　普代川河口　普代浜　2014.6.8.朝

三陸沿岸のIron Road 砂鉄浜
久慈ー八戸車窓より　砂鉄浜　洋野町　陸中中野・有家海岸　2014.6.9.

三陸沿岸のIron Road 砂鉄浜
砂鉄浜　八戸種差海岸　2014.6.9.

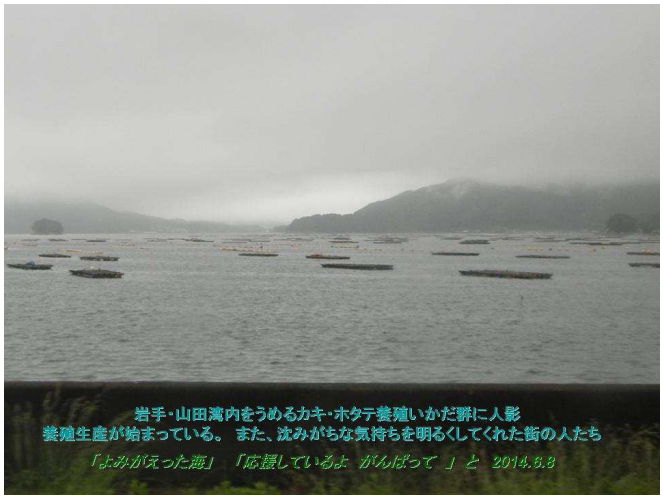

岩手・岩泉
神秘の世界を探検しよう!
国指定天然記念物・日本三大鍾乳洞
龍泉洞
Ryusendo
龍泉洞　2014.6.8.
そのどこまでも透明な青に惹かれていましたが、
20数年ぶりの再訪　かつての印象より ちょっとその青が薄くなったようだ

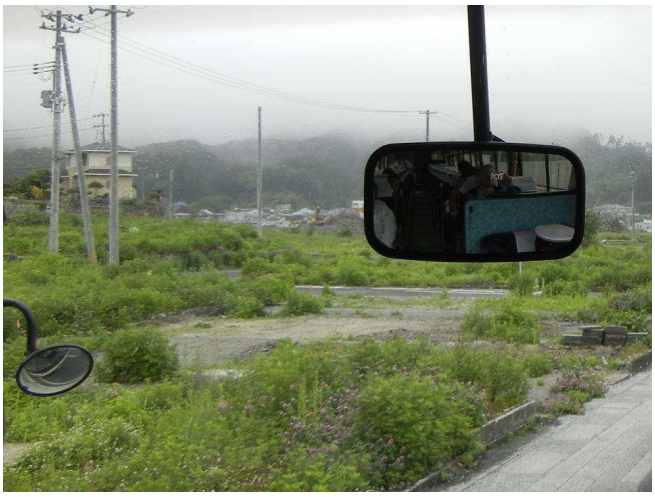
20数年ぶりに再訪した龍泉洞　2014.6.8.

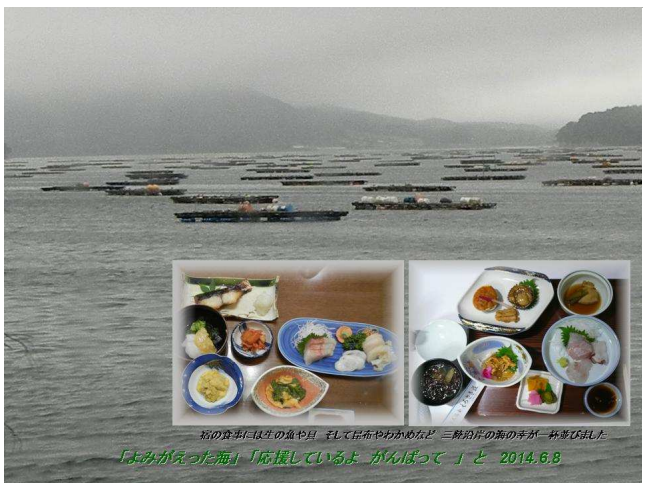
三陸鉄道　北リアス線　2014.6.8. & 6.9
リアス式海岸の崖と谷で、隣の集落と隔てられ
集落それぞれが小宇宙ともいわれる三陸沿岸の町々
鉄道の復旧を待ち望んだ人たちの
気持ちが　よくわかる「三鉄」
久慈
Asahi

普代の街で　元気な声の響きに吸い寄せられて
早朝のスクールバス&昆布の加工場　2014.6.9.

普代の名産
短冊状に細かく切った昆布をのりのように
漉き込んでつくる「すき昆布」に赤紫の海藻「ふのり」







行く先々で、多くの人たちに困難に立ち向かう中でも、明るく親切に follow してもらった。

「　あの高嶺 鬼すむ誇り　その瀬音 久遠の黄歌　この大地 燃えたついのち　ここは 三陸　」

の東北讃歌を思い浮かべつつ、感謝と共に、ほっとし、思わず「応援しているよ」と。